



令和8年4月23日
本部事務局連携推進課

関西健康・医療創生会議 オンラインセミナー ～2026年診療報酬改定にみるサイバーセキュリティ体制整備と人材育成の重要性～

1 趣旨

サイバーセキュリティは単なる IT 課題ではなく、病院経営・診療継続・施設基準等に直結する重要な経営課題となっており、電子処方箋・電子カルテ情報共有サービス・マイナ保険証の活用など、医療 DX の推進に伴い情報を守り安全に運用できる体制整備の重要性がますます高まっています。令和8年度（2026年度）診療報酬改定では、新設された「電子的診療情報連携体制整備加算」において、入院加算を算定する病院に専任の「医療情報システム安全管理責任者」の配置が施設基準として求められるなど、大幅な見直しが行われました。

本セミナーでは、厚生労働省担当官より今次改定の狙いとポイントをご概説いただくとともに、地域の医療機関を守るための人材育成・確保に向けた最新の取り組みをご紹介します。

2 開催内容

- (1) 日 時： 令和8年4月28日（火）13:30～14:30
- (2) 形 式： オンライン（Zoom ウェビナー）
- (3) 対 象： 企業、自治体職員、医療機関、医療情報システム担当者など
- (4) 参加費： 無料（事前登録制）
- (5) 参加申込： 以下の URL 又は 二次元コードよりご登録ください（4月27日 AM 締切）
[\(https://med-fee2026-cyber.kinaiz-event.com/\)](https://med-fee2026-cyber.kinaiz-event.com/)
- (6) 主 催： 関西健康・医療創生会議、NPO 法人関西健康・医療学術連絡会
- (7) 共 催： 関西広域連合、バイオコミュニティ関西（BiocK）、



3 プログラム（敬称略）

- 講演1：「令和8年度（2026年度）診療報酬改定のポイント概説」
矢野 好輝（厚生労働省保険局医療課課長補佐）
- 講演2：「医療情報セキュリティ人材を階層別にどう育成・配置するか」
黒田 知宏（京都大学医学部附属病院医療情報企画部長（教授））
- 意見交換・質疑応答

4 問合せ先

NPO 法人関西健康・医療学術連絡会（関西健康・医療創生会議事務局）
担当： 落合（メールアドレス） gaku-renrakukai@nifty.com